

---

# 俺と天使？【第五章】（8）

榛名屋 忍

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺と天使？【第五章】（8）

### 【Nコード】

N8630R

### 【作者名】

榛名屋 忍

### 【あらすじ】

事件後意識の戻っていなかった将志がようやく目を覚まし、事件は解決へと動き出す。容疑者とされている秀蔵のもとには電話が殺到していたが……。

夏休みにひとりの女子生徒が怪死を遂げ、文化祭前日には真夜中の公園で男子生徒が襲われた。マスコミは学校の管理体制や地域の防犯体制を徹底的に叩いていた。夏樹は家に帰るとあやめとともにテレビの画面を眺めていた。一週間の臨時休校。夏樹は警察の監視下に置かれながら過ごすこととなった。

臨時休校をいいことに、晶は将志の入院する病院に張り込み続けた。家族が病室に入ること許されたのは事件発生の三日後。晶はその場に家族がいないことを確認すると、真っ先に病室に飛び込み、ベッドに駆け寄った。

「将志、わかる？ 私よ」

「渡会……」

将志は目を覚ましたばかりなのか、まだ意識ははっきりしていなかった。

「渡会くんは無事だから」

「う……ん」

晶の言葉に将志は安心したらしい。しかし、晶は不服だった。

「私より渡会くん優先かつ」

晶は将志に聞こえないよう、小さな声で呟いた。一方、将志はぼんやりとした意識の中で、晶の存在を確認していた。

「あ……晶……？」

「将志？ わかる？」

「父さん……呼んでくれる……？」

警察で働いている父親をここに呼ぶ理由は、晶にもすぐわかった。しかし、晶はあえて聞き返した。

「呼んでどうするの？」

「犯人……喋らなきゃ……」

被害者の父親とはいえ、現役の警察官だ。今回の事件の捜査に全く関与していないということはない。だが、目を覚ましたばかりの将志に事情聴取を勧めるわけにはいかなかった。

「だ、駄目よ。こんな状態じゃあ」

「お願い……晶……」

晶は看護師を呼ぶと静かに病室を出た。後のことは医師・看護師の判断に任せるしかないからだ。

その頃、学校や警察の他にもマスコミが詰めかけている場所があった。それは事件現場からは少し離れた高級住宅地の中にあるマンション。そこには武田秀蔵が住んでいる。今回の事件は、武田議員によって有耶無耶にされたストーカー・誘拐事件と関係しているのではないか、という憶測が飛び交っているのだ。

「ああ！ 何時まで経っても電話が鳴り止まない！ 事件は俺のせいじゃないって言うてるじゃないか」

鳴り続ける電話機に向けて叫ぶ秀蔵を食卓から冷ややかに見つめる女がいた。

「わかってるわ。だって私は犯人を知ってるもの」

「何だつて?!」

秀蔵は女を見た。女は動じることなく楽しそうにワインを飲んでいる。

「大丈夫よ。あなたは何もやってないんだから、堂々としていればいいのよ」

秀蔵は不安を押し殺して、食卓についた。

「そつだよな……すべては親父が何とかしてくれる」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8630r/>

---

俺と天使？【第五章】（8）

2011年10月7日23時03分発行